

114  
A 4049



ヤ  
コノミスト新聞抄譯

亞米利加州ニ於テ金銀ノ產出及ヒ其景況

「マイソルネウエルズ・カレゴウ」会社ノ年報ニ據テ「メソヂリ」河以西ノ各州及ヒ各地方并ニ「アリキツシ、コロンビヤ」地方ニ於テ昨年即チ一千八百七十九年金銀產出ノ總計ヲ莫スレバ「ニエウノキ」ヨリ「サンフランシスコ」ニ金銀收入セシ共計ハ一千八百七十八年ニ於テ一千六百二十三万の九百二十五磅ニ對シ一千八百七十九年ニ於テ一千五百の六万九千九百磅ナリ此產出總計ハ左ノ如シ

一千八百七十九年

一千八百七十八年

金	六百五十万七千九百八十四磅	七百七十六万二千二百四十六磅
銀	七百七十二万四千七百六十二磅	七百七十四万九千二百七十九磅

大正十一年四月  
大塚 侯爵邸 贈





鉛 八十三万七千五百五十四磅 六十九万〇四百磅

總計 千五百〇六万九千九百磅 千六百二十三万九百二十五磅

此ノ計算ニ申テ之ヲ觀レハ千八百七十九年ニ於テハ金ノ産出ハ著シク其高ヲ減却セシト雖モ銀ノ産出ハ殆ト千八百七十八年ト平等ニ其高ヲ支ラルヲ得タリ而ナ「<sup>金</sup>イリヤル、ウエルス、カレゴウ」会社ノ先見ニ在テハ一千八百八十年ニ於テ銀ノ産出ハ一千八百七十九年ヨリ大ナル下期スヘナラズトナス然レモ合衆國造幣局長ハ「<sup>金</sup>イリヤル、ウエルス、カレゴウ」一千八百八十年ニ於テハ金銀共ニ兩ツナカラ其産出ヲ減スベシト云ナリ  
造幣局長前ニ今年間ノ金銀産出ニ就テ正確ニ之ヲ記載スル如左  
「<sup>金</sup>イリヤル、ウエルス、カレゴウ」会社ハ十二月卅一日ニ終ル曆年ヲ以テ年度ヲ別ク造幣局長ハ六月卅日ニ終ル會計年ヲ以テ年度ヲ別ツト知ルヘシ

年 金 銀 總計

千八百七十七	六百三十七万九千四百七十八磅	七百九十五万七千七百五十五磅	千七百三十三万六千六百三十三磅
千八百七十八	千〇三十四万二千二百七十二磅	九百〇五万六千二百七十七磅	千五百三十九万七千五百四十九磅
千八百七十九	七百五十七万九千九百三十二磅	八百六十六万二千四百二十六磅	千五百九十四万二千三百五十八磅

先ニ記載スル者ハ右ニ記載スル産出ノ金銀如何ニテ以テ使用セラル、所ノ者ヲ著ス

輸出ト造幣ト、數ハ造幣局長ノ以テ官簿ヨリ操録スル所ナリ各州ノ技術製造トニ於テ使用セラレタル金額ノ計算ハ造幣局長本件ノ報告ニ就テ尋問センガ爲メ各製造者ニ送付シタル回状ニ返答セシ所ノ者ニ據テ之レヲ證スト云フ

造幣、高 技術製造ノ使用高 輸出高 總計

會計年



ヨリ大ナルノ期スヘキナリトシテ合衆國造幣局ヨリ  
 八百八十年ニ於テハ金銀共ニ兩ツナカラ其産出ヲ減  
 造幣局長前ニテ年間ノ金銀産出ニ就テ正確ニシテ記載スル如左  
 「<sup>ラパ</sup>」<sup>エウ</sup>」会社ハ十二月卅一日ニ終ル曆年ヲ以  
 テ年度ヲ別ク造幣局長ハ六月卅日ニ終ル年計年ヲ以テ  
 年度ヲ別ツト知ルヘシ

年	金	銀	總計
千八百七十七	六百三十七万九千四百七十八磅	七百九十五万五千七百十五磅	千七百三十三万五千二百三十三磅
千八百七十八	千〇三十四万二千二百七十二磅	九百〇五万六千二百七十七磅	千九百三十九万七千五百四十九磅
千八百七十九	七百七十七万九千九百七十二磅	八百六十六万二千四百二十六磅	千五百九十四万二千三百九十八磅

尤ニ記載スル者ハ右ニ記載スル産出ノ金銀如何ニテ以テ使用ナル  
 所ノ者ヲ著ス

輸出ト造幣ト、數ハ造幣局長ノ以テ官簿ヨリ操録スル所  
 ナリ各州ノ技術ト製造ト於テ使用セラレタル金額ノ計算ト  
 造幣局長本件ノ報告ニ就テ尋問センガ爲メ各製造者ニ  
 送付シタル回状ニ返答セシ所ノ者ニ據テ之レヲ證スト云フ

年計年	金	銀	總計
千八百七十七	八百三十三万五千三百三十三磅	七百九十五万五千七百十五磅	千六百二十九万九千四百四十八磅
千八百七十八	九百十八万四千四百八十八磅	九百〇五万六千二百七十七磅	千九百廿四万〇七百六十五磅
千八百七十九	七百〇〇千九百九十三磅	八百六十六万二千四百二十六磅	千五百六十七万二千四百一十九磅
千八百七十七年	四百九十九万八千七百八十八磅	七百九十五万五千七百十五磅	千二百九十五万四千五百六十三磅
千八百七十八年	五百〇七千二百三十九磅	九百〇五万六千二百七十七磅	千四百一十二万八千五百一十六磅
千八百七十九年	四百五十九万三千五百三十三磅	八百六十六万二千四百二十六磅	千三百二十五万五千九百五十九磅